



# 松田初マラソンV

## 第37回 大阪国際女子マラソン

# 2時間22分44秒 五輪挑戦権

### 前田2位、安藤3位

2020年東京五輪の代表選考会「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)」への出場資格を懸けた「第37回大阪国際女子マラソン」(日本陸上競技連盟、産経新聞社、関西テレビ放送など主催、奥村組協賛)が28日、大阪市東住吉区のヤンマースタジアム長居を発着

点とする42・195キロのコースで行われ、昨年の1万5000メートル日本女王で初マラソンの松田瑞生(22)が2時間22分44秒の好タイムで優勝した。大阪国際での初マラソンの優勝は平成13年大会の洪井陽子(三井海上、現三井住友海上)以来。前田穂南(21)が2時間23分48秒で2位、3位には昨夏の世界選手権(ロンドン)マラ

ソン代表の安藤友香(23)が2時間27分37秒で入った。レースは気温5度、湿度49%、北西の風1・2メートル、曇りの条件でスタート。ペースメーカーは5キロ17分同10秒のスピードで中間点を過ぎるまで先導した。25キロ地点で前田が集団を抜けたが、ペースを上げた松田が徐々に差を縮め、31キロ前で逆転。その後も力強いフォームでトップを快走した。MGCは平成31年9月以降に開催を予定。すでに昨夏、MGC出場資格を獲得した前田に続き、松田と安藤の2人が条件をクリアして新たに出場資格を得た。



喜びの表情でゴールする松田瑞生。地元大阪での初マラソンで優勝を飾った—28日、大阪市東住吉区のヤンマースタジアム長居(宮沢宗士郎撮影)

松田瑞生(まつだ・みずき) 平成7年5月31日生まれ、22歳。大阪市出身。大阪薫英女学院高から26年にダイハツ入社。29年の日本選手権1万5000メートルを制し、同年の世界選手権は19位。1万5000メートルの自己ベストは日本選手権で記録した31分39秒41。趣味は腹筋強化とジェルネイル。158センチ、46キロ。

松田瑞生の話「監督から30キロまでは我慢しろといわれていた。余力があったので、そこから少しずつ差を縮めた。(地元の)大阪の地で輝けてよかった」

#### 上位3人の選手の記録

選手名	年齢	所属	タイム
①松田瑞生	22	ダイハツ	2時間22分44秒
②前田穂南	21	天満屋	2時間23分48秒
③安藤友香	23	スズキ浜松AC	2時間27分37秒